



# ショウガ栽培情報

## (プランター)



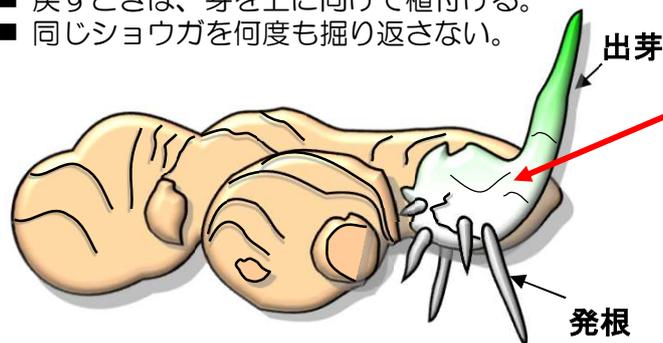
梅雨入りが間近となりました。5月に植付けしたショウガの生育はいかがでしょうか。ショウガは植え付け後、約1ヶ月ぐらいで発芽しますが、天候により発芽が遅れることもあります。ショウガの状況を確認して栽培管理を続けましょう。

### 1. 発芽を観察・確認しましょう。『植付け後約1ヵ月』

植付け後、約1ヵ月が経過して発芽しない場合は、慎重に掘り上げて、出芽・発根状態を確認してみましょう。

慎重に掘り上げて、出芽・発根状態を確認

- 発芽していない場合は、丁寧に掘り起こす。発芽していて根が張っているショウガは無理に掘り起こさない。
- 戻すときは、芽を上に向けて植付ける。
- 同じショウガを何度も掘り返さない。



#### 新根茎

植付け時に見られた芽は新根茎です。ここが肥大し伸びた先端が芽となります。また、種ショウガと新根茎の付け根付近から太い根が伸び、その根から毛細根が出ます。

- 発芽（発根）までは、種ショウガの貯蔵養分で生育するため、あまり水分は必要としません。却って水分が多いと腐敗の原因になります。
- 発芽（発根）後は水分が必要です。適度な土壤水分を保つようにしましょう。

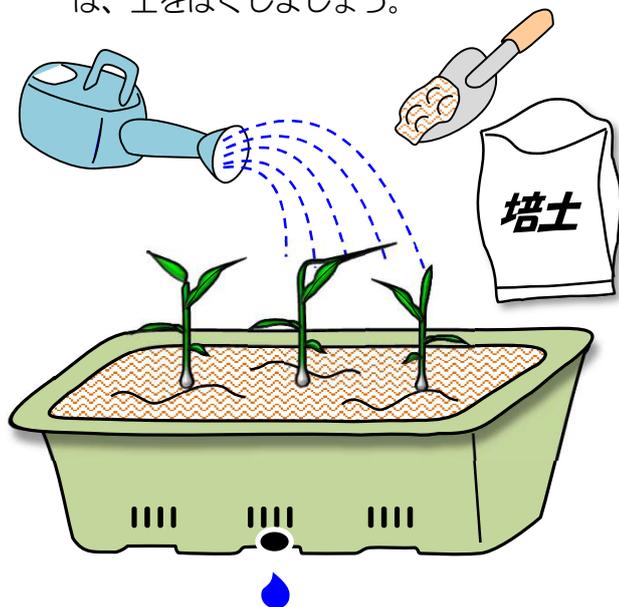
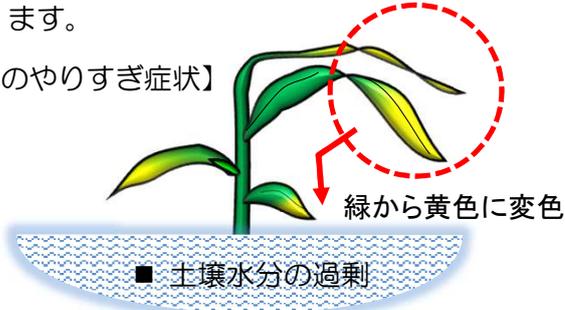
### 2. ショウガプランター栽培のポイント

- ① 水やりで土が下がった場合は、土を足しましょう。また、水やりで、土の表面が固くなったり塊になっている場合は、土をほぐしましょう。
- ② ショウガの水のやりすぎも水不足も悪影響ですが、水のやりすぎの方が一般的な問題です。

#### 【水分が多すぎると】

- 茎や葉がしおれ始め、緑から黄色に変色することがあります。また、長期間にわたって水を与えすぎると、根腐れ、カビ、白カビなどの病気になり、ショウガが枯れることがあります。

#### 【水のやりすぎ症状】



- 水のやりすぎの兆候に早く気づくことが重要です。根腐れなど、水のやりすぎで発生する病気の中には、あまり長く待つと直らないものもあります。水やりの初期症状が見られたら、すぐに水やりの回数を減らしましょう。